

とよさと

TOYOSATO ASSEMBLY

議会だより



議会改革をめざし 新たな飛躍を

3月定例会

平成26年度当初予算 35億円に	2p
平成26年度の主な事業	5p
議決の結果	6p
常任委員会の報告	7p
「議員力」の向上をめざして	10p
7議員が一般質問	12p
雨降野老人会冠句クラブ	20p
豊郷料理クラブ	



江州音頭発祥の地

35億1100万円 (前年度比) (0.2%減)

平成26年度一般会計予算 可決

- 町長から提出された案件は22件(内訳は条例7件、当初予算6件、補正予算6件、その他3件)でした。
- 3月定例会初日(3月6日)条例改正など議案9件を原案どおり可決し、当初予算や補正予算など12件を委員会に付託しました。
- 一般質問は3月6日、7日の両日にわたり7議員が行いました。
- 最終日(3月20日)に本会議で委員会に付託していた議案12件と追加議案(条例改正)等の計14議案が採決され、意見書1件を継続審査とし、他の議案は原案どおり可決しました。

3月
定例会

3月6日
3月20日

各会計別当初予算状況

(単位:万円、%)

区分	前年度予算額	本年度予算額	増減額	増減率
一般会計	351,700	351,100	△600	△0.2
国民健康保険事業	82,330	80,569	△1,761	△2.1
簡易水道事業	31,287	31,072	△215	△0.7
下水道事業	31,549	34,579	3,030	9.6
介護保険事業	51,867	55,545	3,678	7.1
後期高齢者医療事業	5,224	5,816	592	11.4
合計	553,957	558,681	4,724	0.9

予算規模

区分	前年度予算額	本年度予算額	増減額	増減率
一般会計	351,700	351,100	△600	△0.2
特別会計	202,257	207,581	5,324	2.6
合計	553,957	558,681	4,724	0.9

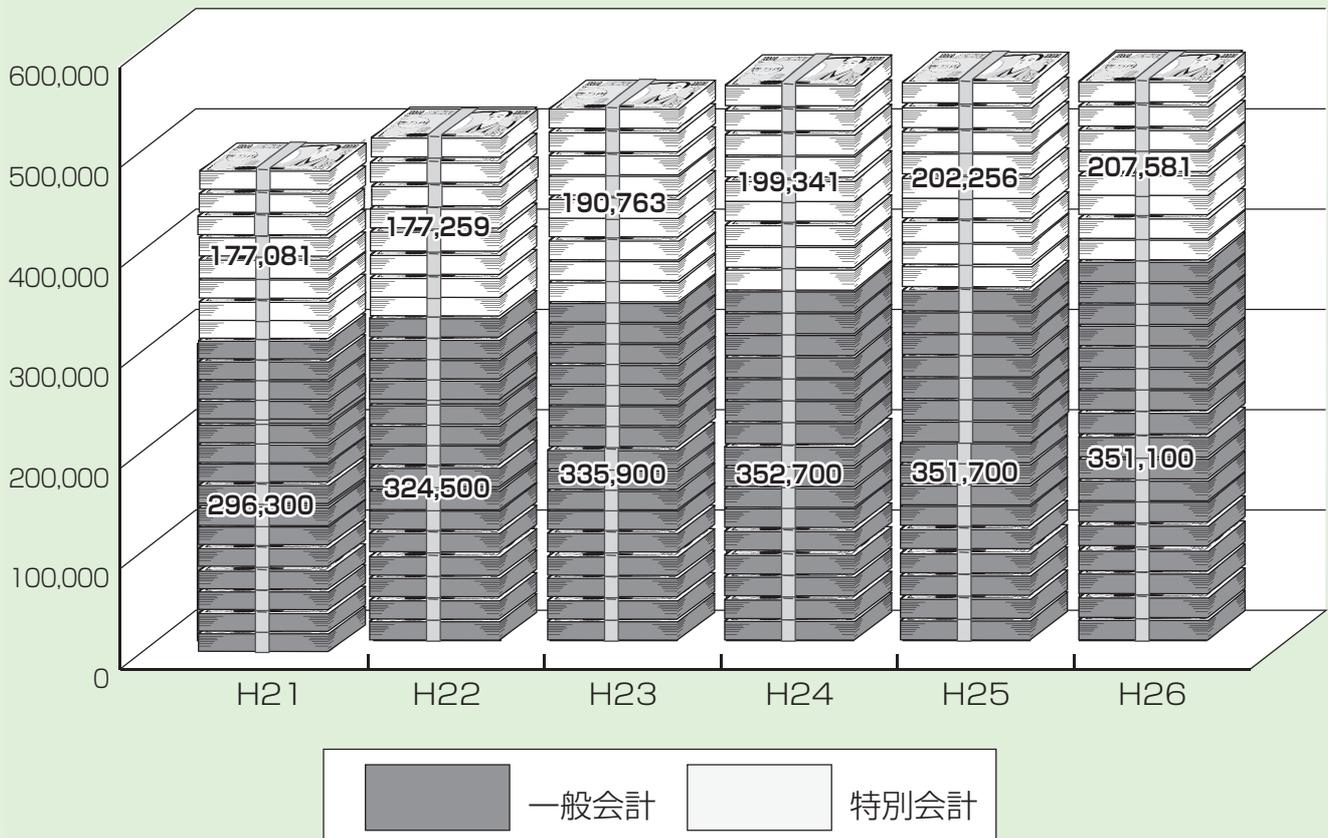
高校生世代まで医療費無料化！ 今年の10月より実施

対象人数(16～18歳) 185人

6ヶ月分で200万円増額

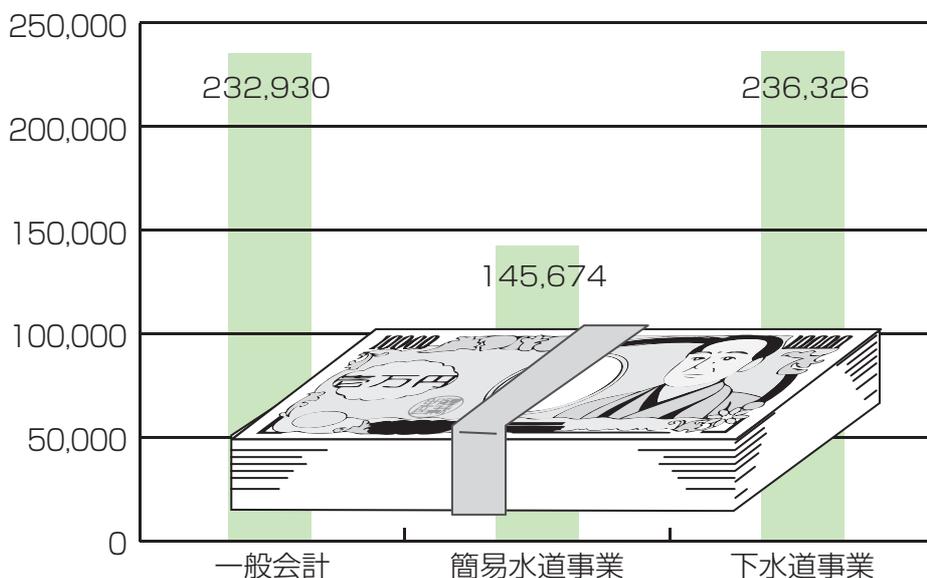
当初予算の推移

(単位：万円)



町債(借金)の状況

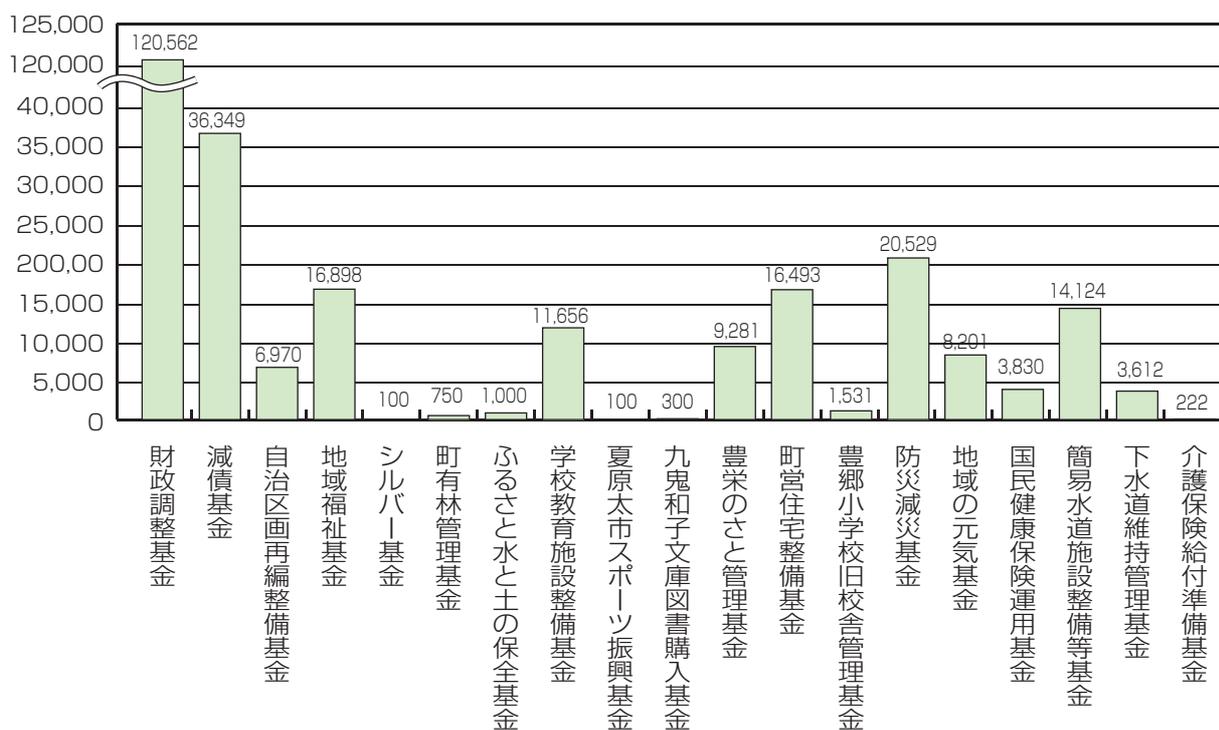
(H25年度末見込高) (単位: 万円)



合計 61億4,930万円

基金(貯金)の状況

(H25年度末見込高) (単位: 万円)



合計 27億2,508万円

平成26年度の主な事業

経営開始型 青年就農給付金事業 (450万円)

独立自営就農した青年就農者に対し、就農初期の所得を確保し、就農を定着するため給付金を支給する。



(イチゴ栽培)

安全・安心環境整備 支援事業 (840万円)

町内施工業者による太陽光発電設置、住宅リフォーム等を行った者に対する経費の一部を助成する。



(ソーラーパネル)

防災施設 整備事業 (2880万円)

自主防災組織が、防災資機材保管用倉庫等の設置および施設の倒壊防止措置を講じるときに要する費用の一部を助成する。



(区の防災倉庫)

スポーツ公園 改修事業 (1億1606万円)

スポーツ公園における体育館改修および法面改修を行う。



(町民体育館ロビー)

福祉医療費 助成事業 (6403万円)

乳幼児、小学生、重度心身障害者、高齢者、母子・父子家庭、ひとり暮らし寡婦等における医療費の自己負担分の助成を行う。昨年度開始した中学生に加え、10月から高校生世代についても助成を行う。



(医療費受給券)

豊郷病院小児科 医師確保事業 (1000万円)

豊郷病院小児科医師確保のため、滋賀医科大学に医師の派遣を委託する。



(診察風景)

議 決 の 結 果

○=賛成 ×=反対

平成26年3月 豊郷町議会定例会		議 員 名											結果	
		前田	西山	西澤博	鈴木	西澤き	西村	佐々木	—	河合	今村	北川		堀
議第1号	豊郷町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第2号	豊日中学校ランチルーム新築工事請負契約の変更につき議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第3号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第6号	豊郷町税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第7号	豊郷町国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第8号	豊郷町子育て応援医療費助成条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第9号	豊郷町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第10号	豊郷町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第11号	豊郷町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例案	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第12号	平成25年度豊郷町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第13号	平成25年度豊郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第14号	平成25年度豊郷町簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第15号	平成25年度豊郷町下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第16号	平成25年度豊郷町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第17号	平成25年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決
議第18号	平成26年度豊郷町一般会計予算（修正案）	×	×	×	○	×	×	×	—	病欠	○	×		否決
	平成26年度豊郷町一般会計予算（原案）	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決
議第19号	平成26年度豊郷町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決
議第20号	平成26年度豊郷町簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決
議第21号	平成26年度豊郷町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	病欠	○	○		可決
議第22号	平成26年度豊郷町介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決
議第23号	平成26年度豊郷町後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	—	病欠	×	○		可決

（議長は採決に加わらないため空白）

副町長 村西 康弘
 豊後期高齢者医療広域
 連合協議会議員

選 出

固定資産評価委員
 田中正剛氏

同 意

平成26年2月6日

中島幸子議員死去



略 歴
 平成15年11月14日
 豊郷町議会議員初当選

議会副議長
 文教民生常任委員会 委員長
 議会運営委員会 副委員長
 彦根愛知大上広域行政組合議会議員

滋賀県町村議会議長会
 特別功労者表彰

御冥福をお祈りいたします。

常任委員会の報告

文教民生常任委員会

委員長・当初予算審議報告

3月20日

委員名	出欠
佐々木	○
北川	○
西澤博	○
河合	病欠
今村	○

議第19号 平成26年度豊郷町国民健康保険事業特別会計予算、議

第22号および議第23号の各特別会計予算について、去る3月10日、委員4名出席のもと、町長、副町長及び担当職員の出席を求め、審議を行いました。

議第19号の審議で、**歳入**では、国民健康保険税の徴収方式、医

れました。

療費の滞納繰越分で滞納者に対する対応・徴収方法、差押えなど、

県補助金の財政調整交付金の減の理由、延滞金の内容の説明等について、

歳出では、総務管理費のレセプト点検の内容・状況などについて、保険給付費が減になって、高額医療費、出産一時金、葬祭費について、老人保健医療費拠

出金の支出方法、人間ドックの内容・状況などについての質疑がさ

質疑終了後、反対討論、賛成討論の申し出

があり、採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。(2対1)

議第22号の審議で、**歳入**では保険料が増えた理由・内訳・徴収基準について、介護給

付費繰入金割合について、基金繰入金の状況についてなど、**歳出**では、介護サービス

の件数、認知症などについて、地域包括センターと医療保険課との連携について、介護運営協議会委員の活動内容について、事業

事業計画の委託先につ

いて、保険給付費の居家介護の内容・内訳について、特例サービスの内容について、包括的支援事業の取り組みと概要説明について、

成年後見人の説明についてなどの質疑がされました。

質疑終了後、反対討論・賛成討論の申し出があり、採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。(2対1)

議第23号の審議では、**歳入**の保険料の平均徴収額についての質疑がされました。

で、可決と決しました。(2対1)

総務産業建設常任委員会

委員長・当初予算審議報告

3月20日

委員名	出欠
西澤き	○
前田	○
西山	○
鈴木	○
西村	○
堀	○

議第20号 平成26年度豊郷町簡易水道事業特別会計予算および議

第21号の各特別会計予算について、去る3月11日、委員6名出席のもと、町長、副町長及び担当職員の出席を求め、審議を行いました。

議第20号の審議で、**歳入**では、加入者負

担金の額について、使用料は条例改正による収入増や滞納の具体的な内容などについて、

歳出では、公営企業法適用検討業務委託の債務負担行為の計画について、南部簡易水道の検針員の内容などについての質疑がされました。

質疑終了後、反対討論の申し出があり、採決の結果、賛成多数で、可決と決しました。(4対1)

予算決算常任委員会

委員長・当初予算審議報告

3月20日

議第21号の審議では、**歳入**で下水道受益者負担金の件数、使用料の過年度分の件数と内訳・対応について、損害賠償金の金額等の内訳、自己破産の見込みについて、町債の流域下水道事業債の今後の運営などについて、**歳出**では、総務管理費の弁護士費用の目的について、維持管理費



の下水道総合地震対策計画策定業務委託の業務内容、琵琶湖流域下水道建設事業市町負担金の増と県の施策などについての質疑がされました。
質疑終了後、討論の申し出はなく、採決の結果、全員賛成で、可決と決しました。(5対0)

委員名	出欠
西山	○
鈴木	○
前田	○
西澤博	○
西澤さ	○
西村	○
佐々木	○
河合	病欠
今村	○
北川	○
堀	○

議第18号 平成26年度豊郷町一般会計予算について、去る3月13日、14日の両日にわたり委員10名出席のもと、町長、副町長、担当課長、課長補佐の出席を求め、慎重に審議を行いました。

審議では、税務課関係の質疑では、**歳入**においては、個人・法人町民税の内容、滞納の徴収対策、固定資産税の未登記部分の対応、減免・軽減や町独自施策、延滞金の件数、見込などについて、

歳出では、一般管理費の特別職の給与・職員手当・共済費の金額の説明を、管理職特別勤務手当をつける際の決済について、行政手続き整備支援業務は職員でやれるのではないかと、行政懇談会の計画内容、文書広報費では、新年度の広報発行計画、点字広報、音声広報について、財政管理費では、基準モデル財務諸表作成業務委託料とはどのようなことか、諸費の犬上郡町村会費の内容について、地域づくり事業の頑張る自治区応援プログラム事業内容、方法について、電子計算管理費と主要施策の概要との説明、常備消防費と主要施策の概要の事

業費との差異について、災害対策費では防災訓練の内容、訓練方法について、防災施設整備補助金の内訳などについて質疑がされました。
住民生活課においては、**歳入**では中長期在留者の対象、年金生活者支援交付金の内容など、資源ごみの収入、業者との契約などについて、**歳出**においては、民生費では、国民年金の減免申請の内訳について、衛生費の動物処分業務内容について、水質調査で異常は出ていないのか、清掃実施団体御礼の内容・活動について、第4次総合発展計画における行政評価の実施はどうかなどに

係の質疑では、**歳入**においては、個人・法人町民税の内容、滞納の徴収対策、固定資産税の未登記部分の対応、減免・軽減や町独自施策、延滞金の件数、見込などについて、

総務企画課では、**歳入**においては、自動車重量譲与税と道路関係予算との関連性、地籍調査事業の住民への周知徹底をどうするのか、基金繰入金の事業計画はどうか、町債では繰り上げ償還を行ったものの内容などについて、

と主要施策の概要の事

と主要施策の概要の事

についての質疑がされました。

いて、
歳出では、ゼロ歳児の人数と今後の方向についてはどうかなどの質疑がされました。

就農給付金事業の内容の説明などについて、
歳出では、労働費で国際交流地域連絡協議会の事業内容について、農林水産業費で豊郷町の特産物が昨年度と比較して増となっているのか、いきがい協働センターの臨時職員賃金の内訳、雇用状況はどうか、商工費において、販売額が落ち込んでいるが現状評価はどうか、どのように見ているのか、小口簡易資金の状況、全国アニメ聖地サミットはどのようなことを企画しているのか、観光協会補助金の内訳と今後の方針などについて質疑がされました。

いのか、対策はどうか、住宅・建築物耐震改修等事業の対象はあ
るのか、何故活用されないのか、対策はどうか、実績はどうか、未登記道路部分の現状、根本的に進まない理由
は何か、道路橋梁費の
工事請負費の道路整備
事業の内容についてな
どの質疑がありました。

て、
歳出では、民生費で職業安定協力員から報告を受けているのか、事例はどうか、児童館の利用頻度をあげる対策はどうか、土木費で公営住宅・改良住宅の
工事請負費の内容につ
いてなど質疑がしまし
た。

費補助金の説明について、財産貸付収入など
について、
歳出では、教育総務費で学校図書館司書を
どのような配置で、ど
のように運用するの
か、正規職員の考えは
どうか、修学旅行補助
金の増額の考えについ
て、

保健福祉課において
は、歳入で、生きがい
デイサービスの利用状
況・内訳について、母
子家庭等対策総合支援
事業内容などについ
て、

医療保険課において
は、歳入で地域なじみ
の安心事業の具体的な
事業内容を、高額療養
費貸付の利用実績はど
うかなどについて、

歳出では、保健衛生
費で肺炎球菌の協議は
どうなっているか、第
4次総合発展計画にお
ける特定健診受診率と
の差異についてなどの
質疑がされました。

人権政策課では、歳
入で隣保館デ
イサービス事
業の内容説明、センター
運営費の体
制・人員の見
直しはど
うか、貸付金元
利収入は、ど
のように管理
されているの
かなどについ

て、
歳入では、明日の
教育のための支援事業

社会教育費では、ス
ポーツ公園等維持管理
委託の内容の説明、町
民体育館の改修内容、
工期などについて質疑
されました。
質疑終了後、討論
は、反対討論・賛成討
論それぞれあり、採決
の結果、賛成多数で可
決することと決しまし
た。(6対2)

歳出の民生費では、
長寿祝い金の対象者
数、障がい者福祉計画
の見直し計画の内容に
ついて、児童総務費で
定住のことも考えて
結婚祝い金も考えては
どうか、子ども・子育て
支援事業計画の年度
ごとの事業計画の説
明、待機児童はどうす
るのかなどについて質
疑がされました。

産業振興課におい
て、歳入では行政財産
使用料の貸付・利用者
の説明・利用状況につ
いて、環境保全型農業
直接支払交付金事業、
学校給食野菜供給拡大
事業、経営開始型青年

地域整備課において
は、歳入では、歩道の
設置計画は考えていな

いのか、対策はど
うか、住宅・建築物耐震
改修等事業の対象はあ
るのか、何故活用され
ないのか、対策はど
うか、実績はどうか、未
登記道路部分の現状、
根本的に進まない理由
は何か、道路橋梁費の
工事請負費の道路整備
事業の内容についてな
どの質疑がありました。

て、
歳入では、明日の
教育のための支援事業

社会教育費では、ス
ポーツ公園等維持管理
委託の内容の説明、町
民体育館の改修内容、
工期などについて質疑
されました。
質疑終了後、討論
は、反対討論・賛成討
論それぞれあり、採決
の結果、賛成多数で可
決することと決しまし
た。(6対2)

愛里保育園では、歳
入で延長保育の時間は
どうなっているのか、
保育士の人数などに

直接支払交付金事業、
学校給食野菜供給拡大
事業、経営開始型青年

地域整備課において
は、歳入では、歩道の
設置計画は考えていな

いのか、対策はど
うか、住宅・建築物耐震
改修等事業の対象はあ
るのか、何故活用され
ないのか、対策はど
うか、実績はどうか、未
登記道路部分の現状、
根本的に進まない理由
は何か、道路橋梁費の
工事請負費の道路整備
事業の内容についてな
どの質疑がありました。

て、
歳入では、明日の
教育のための支援事業

社会教育費では、ス
ポーツ公園等維持管理
委託の内容の説明、町
民体育館の改修内容、
工期などについて質疑
されました。
質疑終了後、討論
は、反対討論・賛成討
論それぞれあり、採決
の結果、賛成多数で可
決することと決しまし
た。(6対2)



「議員力」の向上をめざして

県外視察

議会広報常任委員会委員長（西澤博一）

奈良県・明日香村へ

去る、2月20日、豊郷町議会は、奈良県高市郡明日香村で四常任委員会の合同研修を実施しました。

明日香村は、人口5,866人、世帯数は2,174世帯、一般会計・特別会計を合わせると58億8,652万円で、本町とあまり変わらない財政状況である。

明日香村は、6世紀末から約100年間都が置かれ、政治の中心地でありました。地理的には、大都市である大阪から電車で一時間以内の場所に位置し、また、奈良市、柏原市も通勤できる立地にあります。

近年、人口減少が目立ち特に若い世代の人口が少なく、団塊の世代と言われる60歳～65歳が全体の30%を占めているのが

現況です。

明日香村では、昭和55年5月26日に明日香村特別措置法が公布され、明日香村のかけがえのない風土を未来に向けて、創造的に創り通していく目的で制定され、大きな開発が行えない状況となっています。近年、若者が離れる理由として働く場、農業では食えない、新たな建物が建てにくいなど色々な問題で行政は苦慮している。本町も同じような状況ではないかと思われました。

農業振興については、「あすか夢の直売所」ということで、「明日香の夢市」「あすか夢の楽市」の二店舗があります。「明日香の夢市」は、石舞台古墳が近くにあり地理的にも良い条件だと思えます。ここには、生産

者が自らの判断で価格設定し、店舗に陳列し、数多くの農産物（菓子、漬物、しょうゆ、お米等）また、木材を利用した工芸品等が販売されています。二階の農村レストラン「夢市茶屋」で村内産の農産物等を利用した食事を提供されており、年間の売り上げは、平成24年度で約6,290万円、施設・手数料は売上金額の15%～20%を戴いているとのことでした。ただ、農産物の出品数にムラがあるとか、大量の注文に応えることができななどの悩みもあるとのことでした。

「あすか夢の楽市」は、明日香駅前であり、村内農産物の販売の売り場面積の拡大と村の北玄関口の整備のため平成21年に新設され、数多くの種類の農産物、農家のみなさ



旬菜館 明日香村

んの自慢の野菜、果物、花、こだわり加工品を販売されており、年間の売上は3億円程度あるとの説明でした。農家の収入は、年間530万円程度で、びつくりしました。

オーナーとして明日香の農業を応援してくださる方を募集する「あすかオーナー制度」が創設されており、「棚田オーナー」、「一本木オーナー」、「いもほりオーナー」、「うまい酒オーナー」などの制度があり、地域の活性化を図っておられました。

最後に、観光振興においては、明日香の魅力、四季折々、朝・夕刻の輝き、「日本の歴史」と「自然と共に生きる田園風景」、「日本の国の始まり」など自然と輝きと歴史文化遺産の魅力があります。明日香を情報発信「にぎわいのまちづくり」、観光スポット、新たな交通システム等を検討しながら地域の活性化を図り、広域観光イベント、もてなしの強化、そ

「飛鳥宅配便」ということで、飛鳥の味を消費者に配達するなど、創意工夫を重ね事業の拡大を図っておられました。

昼食は、「明日香夢の旬菜館」にて、収穫されたばかりの「新鮮」「安心」「安全」な野菜などの料理を満喫したところです。

「旬菜館」では、自然豊かな明日香村の素材を使った加工品など製造、販売しています。

して観光のトップセールスなど様々な創意工夫をしながら行政、観光協会、農業団体、一人ひとりの絆で年間80万人の方々が訪れ、より一層の人々の来訪をしていただけることに対して日々努力をされています。

ことは、最初に基本計画、理念があり、それをもとに基礎データの積み上げを行い、収支などの検討をし、その後順次年度ごとの計画策定を行っていくという手順を踏んでおられました。本町のどの事業においても相共通するところであり、大

変参考になりました。今後は、議会に対して行政と協力しながら一歩一歩前に進め、より一層、努力すべきではないかと思えます。我よしではなく、みんなが縦、横を密に連携し、取り組む事が大事ではないかと感じました。

町内視察

ランチルームなどを

文教民生常任委員会委員長（佐々木 康雄）

去る3月6日に開会した定例会に町長より提案された豊日中学校ランチルーム新築工事の請負額が1億8,674万9,850円に増額したため、豊日中学校の現場を視察し、進捗状況と学校での取組状況聴取を教育長、教育次長、教委職員、学校長、教頭、請負会社の現場監督立ち会いのもと行いました。

3月7日の視察現場は、計画通り進んではいるものの初めての試みでもあり、教師と生徒が一体と



豊日中 ランチルーム

なつて取り組み生徒や保護者が喜んで預ける給食事業であることを願い、多方面に渡つての質問や提案もしました。引き続きクラブハウスの改築と

運動場の改修、排水関係の現場と課題等の提起を行い中学校視察を終わりました。次に豊栄のさとの調査は、平成24年度の繰越明許費で実施した大規模改修の内容が予算や実施設計に基づく改修や課題解決に十分配慮したものかをくまなく歩き、点検しながら担当課長と係職員の説明を受けました。現場審査では、いくつかの疑問や質問を行い、課題解決と今後の取り組みを確認し、研修を予定通り終了いたしました。

勉強会

予算・財政のしくみを学ぶ

予算決算常任委員会委員長（西山 勝）

平成25年豊郷町議会第2回臨時議会（平成25年11月25日）において豊郷町議会委員会条例の一部を改正され、予算決算常任委員会（12人）が設置されました。

研修するには、相当の時間を要するため、研修を重ねる中で町民や地域のニーズを踏まえながら研修を通し、重点的かつ効果的な運用を図ることが

でき町民全体の向上のために還元されるよう、予算決算委員会を委員全員で今後も取り組んでまいります。

去る3月4日全員協議

会の後、議員意識の向上と委員会の活性化を図るため、自治体予算の仕組み、財政の仕組みについてなど研修会の実施をいたしました。

内容については、

- ① 歳入歳出予算
 - ② 継続費
 - ③ 繰越明許費
 - ④ 債務負担行為
 - ⑤ 地方債
 - ⑥ 一時借入金
 - ⑦ 歳出予算の各項の経費の金額の流用
 - ⑧ 歳入の財源充当
 - ⑨ 歳出の細目事業
- など、多岐にわたり研修を実施しました。全てを



勉強風景





3月定例会一般質問

●北川 かずとし 議員

役場庁舎の増改築事業は 13p

ランチルームの活用方法は

●佐々木 康雄 議員

消防団員は定数を満たしているか 14p

就職状況と税の収納は

●西山 勝 議員

財務規則違反および虚偽公文書作成を問う 15p

●西澤 博一 議員

防災・水害等の訓練の対策は 16p

体育施設の改修の計画は

●西村 雄三 議員

湖東定住自立圏の進捗状況と今後の課題は 17p

●今村 恵美子 議員

町民の福祉・暮らしを守る町政を 18p

●鈴木 べんいち 議員

役場庁舎の増改築問題 19p



北川かずとし議員

庁舎の増改築事業は

庁舎整備の環境整備を図ろう

質問

先の12月議会の一般質問で役場庁舎の増改築は、別館にて障がい者差別解消法の成立と現在設計が進められている役場庁舎の増改築事業における整備との関係について質問をしたが、その後、進めている設計から工事内容がどのような計画で進められているのか。特に、一つ目、障がい者差別解消法による行政の義務として障がい者の方の利用しやすい施設整備になっているのか。二つ目、12月に同僚議員から指摘もあった役場庁舎の増改築事業における庁舎の面積基準は満たしているのか。

町長

一つ目は、昨年12月議会で

もご説明しました障がい理由とする差別の解消の推進に関する法律が平成25年6月19日に公布されました。現在平成26年秋ごろを目途に基本方針、指針を策定する予定であることから、具体的な内容が示されていない状況であります。

このため、障がい者差別解消の一部とも考えられます高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、誰でも自由に使いやすくというユニバーサルデザインへの考え方に基づいた施設等の整備を実現していくものとされています。庁舎建築に際し、これらの内容を十分取り入れ、環境整備を図ってまいり

たい。

二つ目に、増改築事業における庁舎の面積算定は、国土交通省の新営一般庁舎面積算定基準に基づき算定を行っております。また、平成23年度に廃止になりました総務省の起

債許可標準面積算定基準による面積の算定を参考値としました。

今回計画している庁舎増改築にかかります面積等につきましては、おおむね面積基準は満たしていると考えています。

他に次の質問をしました。

- ① 改良住宅の譲渡は
- ② 高校生までの医療費の無料化、屠畜場の跡地について

ランチルームの活用方法は

校内の給食委員会で

活用をどういった方法で、どのように昼食時間を確保し、子供たちにごような指導をおこなっているのか。

4月からは、ランチルームで全校一斉の昼食をとることにしている。26年度の昼食は、弁当とスクールランチの併用となります。

教育長

給食が実施される27年度の

二点目は、完全実施ではありませんので特に日



豊日中 ランチルーム全景

課表に修正を加えることなく従来どおりの時間でいきたいと思う。なお、完全実施に向けて26年度中に昼食時間を考慮した日課表を検討していく。三点目は、新年度4月にランチルームの見学を実施し、活用時の約束事、衛生面や使用後の清掃等についても指導していきます。子供たちの食育指導、安全・安心な給食のあり方、ランチルームの活用方法、また活用するための動線等につきまして校内に給食委員会を組織し、推進していく。

ズバリ!

町政を問う



佐々木康雄 議員

消防団員は定数を満たしているか

加入促進は 各区長にお願いしている

質問 消防団は、火災や自然災害等多くの災害対応や予防に活動されています。敬意を表する次第です。本町の

団員に対しては国より満額、交付税措置がなされています。そこで、本町の団員数は50名の定員で42名と聞きましたが、早急

に充足活動をするべきだ。

総務企画課長

転勤等で転出され、

自営業者の減少などで入団が困難な状況です。各字の区長さんにも毎年勧誘をお願いしています。今後もその方向でお願い

していきたい。

再質問

昨年の12月に消防団強化の基本的施策が県や市町村に通知されたそうです。その中で特に消防団加入促進で第9条意識の啓発があり、公務員の消防団

との兼職の特例も第10条であることから、近隣の愛荘町や甲良町、彦根市に勤務している職員さんにご協力願うなどの配慮が必要と考えるがどうか。

総務企画課長

現在12名の職員が本団員で在籍しています。国の12月通知により、他市町の話し合いもあろうかと思えます。この法律を受けて近隣町からお話しがあれば、当然加わった中で協議していきたい。

税務課長

は、今年度4月から1月まで400件と前年度より150件減です。

雇用状況の冷え込みがあれば課税所得の減少は予想されますが、滞納は大きな影響なしと思えます。

就職状況と税の収納は

就職指導している

質問

2月初旬の新聞報道では、滋賀県内は全国に比べて雇用情勢が冷え込んでいることがうかがえるとありましたが、本町の全体の就業状況と就職状況はどうか。ま

た、税の収納や滞納整理は順調にできているのか。

産業振興課長

町単位での就業状況調査は困難ですが、彦根ハローワーク管内では

再質問

高卒就職者の就労ケアと滞納整理の民間力の活用はどうか。

税務課長

平成24年度は69件・530万円、平成25年度は途中ですが、88件・640万円差押えています。



町の消防車



西山 勝 議員

財務規則違反・虚偽公文書作成を問う

不適切事務処理による減給処分

質問

昨年の12月定例議会にて不正支出において、財務規則違反であることを認め、以下のように答弁されました。組織の責任と個人責任の所在について、厳重に厳しく対応責任をとれることなど、又各種の法令等を厳守することは、職務であり違反すれば懲

戒処分対象となり財務規則等については、研修を全職員対象で実施し、懲戒審査会審議を検討して

いただいた、その結果次第、職員の対応・損害賠償の対応について、監査委員の提出資料等もさせて頂くとの答弁であった。次の7項目について、

- ①職員対象での財務規則の研修は実施されたのか
- ②組織の責任と個人責任の所在について
- ③改ざん・虚偽公文書作成について
- ④懲戒審査の内容・結果・職員対応損害賠償について
- ⑤監査委員に提出された資料内容について
- ⑥再発防止策はどのような対策強化をするのか
- ⑦町長（管理責任者）としてこの問題をどのように受けとめていると考えるのか

以上の7項目について答弁を。

町長

②の組織の責任と個人責任の所在について、全体としては組織の責任となります。個人の責任として、処分を懲戒審査会からお答えをいただいで、本日付で本人に渡し、厳しく申したところです。⑥の再発防止策強化については、今後二度とこのような事実が起らないよう法令・条例・規則等の遵守をはかり、責任と自覚の徹底と職員の綱紀粛正と服務規程の確保に努めてまいりたいと考えております。⑦の町長として、今回の議案につきましては真摯に受けとめ、私の責任所在については、議

総務企画課長

①財務規則の研修実施については、管理職と一般職と二つに分けて行いました。③の虚偽公文書作成については、不適切な事務処理が行われたと認識しています。④の懲戒審査内容・結果については、豊郷町職員懲戒審査委員会に処分内容について審査をいただき減給処分、⑤の監査委員に對しまして、地方自治法第243条の2第3項に基づきます手続きは行っておりません。

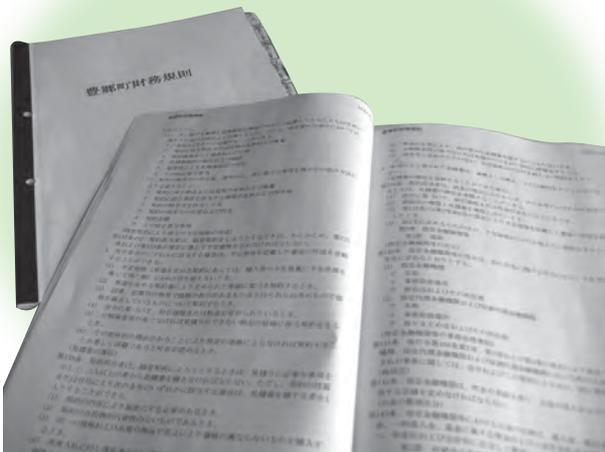
会最終日に議案を提出させていただきます。

再質問

全職員が肝に銘じて、このようなことがないよう

副町長

法令等については、絶えず検索をするということの意識の改革の徹底をはかってまいりたいと考えております。



豊郷町財務規則

ズバリ!

町政を問う

防災・水害等の訓練の対策は



西澤 博一 議員

防災体制の確立、訓練の 取り組みを支援する

からも支援をしていきたい。訓練につきましては、職員の緊急時の集合にどれだけの時間がかかるかも含めて今後も考えたい。災害が起きた警戒体制は、三段階の組織があり、本部につきましても管理職以上で対応する。防災計画の見直しを行っており3月末には、各家庭に防災計画の概要版を配付致します。

質問

町民が、安心安全に暮らすため、その生命、身体及び財産を災害から守る防災対策は、行政上最も重要な施策の一つです。大規模な災害が発生した時には被害の拡大を防ぐため、国や県、市町は全力で対応するのが防災関係機関の対応、公助だけでは限界があると思う。又、普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まってお互い協力し合い防災活動に取り組むこと、共助が必要で、自主防災の観点からも活動の中核ではないかと思う。町としての対応は、答弁を求む。

町長

自分達の地域は、自分達で守



町消防団の訓練

再質問

防災訓練は、区が主体か、

現在、町が主体で自主防災組織が設置され独自で活動されるのが本来の活動だと思います。ただ、すべての区に防災組織が無いのが現状です。これ

総務企画課長

町が主体か。防災対策本部設置で部署の役割は。

体育施設の改修の計画は

町民体育館は大改修する

質問

平成25年度の3月議会で一般質問をした体育館、バンガロー等の施設の改修計画は、現在どのような状況か答弁を求む。

社会教育課長

平成26年度



町民体育館

度には町民体育館の大改修計画を考えている。内容は、屋根の葺き替え、アリーナのフロアリング全部をサンダー掛け、休養施設の新社外装の吹付、法面等の外溝などであり、武道館は、今年度に設計業務を終え、平成27年度に改修事業を予定しております。



西村 雄三 議員

湖東定住自立圏の進捗状況と課題は

魅力ある町づくりを推進する

質問

当政策協定締結から早や4年強経過しました。その間、色
いろな政策協定を結び、
広域行政を行って頂いて
住民の皆様の生活の利便
性と向上に努めて頂いて
いますが、まず

- ①生活機能の強化に係る政策分野、
- ②結びつきやネットワーク強化に係る政策分野、
- ③圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の3大施策のうち、①の項目で環境並びにごみ処理の具体的取組、②の項目で地域公共交通と地域の生産者や消費者の連携による地産地消の具体的取組、③の項目で職員の人材育成、職員等の交流、コンピュータシステムの

共同利用共同開発の具体的な執行状況をお知らせ下さい。

又、当協定も事業として平成26年で一応区切りをつける訳ですが、今後の対応についての考えは如何か。

副町長

各政策項目ごとの取組状況ですが、①の生活機能の強化に係る政策分野の環境の取組ですが、地域低炭素社会の構築を進め持続可能な地域社会の実現に向けた取組としてゴーヤ栽培による緑のカーテン推進事業、自然エネルギーマップの作成による緑の分権改革推進事業に取り組んでいる。ごみ処理の取組では循

環型社会の構築を進める為ごみ減量化やリサイクル事業、又広報や研修による3R運動の推進というようなことでの啓発活動を行っている。

②の結びつきやネットワークの強化に係る政策分野での地域公共交通の取組として、湖東圏域内における公共交通の活性化とネットワーク化を図る為、路線バスの新設又延伸及びダイヤ改正の改善を行っている。予約型乗合タクシーの運行又、高齢者の免許証の自主返納に対する支援事業を行っている。地産地消の取組組みでは特産品の生産及び消費状況調査事業として流通実態や利用調査の実施なり地元農産物

消費拡大事業を実施している。

③の圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の職員の人材育成の取

組では政策形成能力養成研修参加、又管理職員の研修を実施、職員の交流取組は専門的分野の効果をあげうるには一定の期

間を要する。コンピュータシステムの共同利用共同開発の取組は平成24年度から災害情報のメール配信システムの運用を開始、共同利用化自治体クラウドは平成25年度に6町でシステムの共同利用化が決まったので圏域内での共同利用可能か検討中、引き続き圏域内において安心して暮らせる地域形成に向けての定住のための諸機能を確保すべく魅力ある町づくりを推進すべく取り組んで行く。



役場の電算室

ズバリ!

町政を問う

町民の福祉・暮らしを守る町政を



今村 恵美子 議員

若者への1万円給付は、バラまき事業

質問 安倍政権による消費税増税で、町民生活は給料が上がりず年金は下がり、一方、物価が上がりますます暮らしにくくなっています。

そこで、町民の福祉・暮らしを守る観点から以下の提案をします。町の見解を求めます。

- ①平成26年度は水道料金値上げを凍結し、町民の暮らしを守る施策を。
- ②子育て世帯の生活支援として、第2子からは保育園・幼稚園の保育料の無料化と、ひとり親家庭の子どもの給食費無償を。
- ③65歳～69歳までの「低所得老人」「ひとり暮らし高齢寡婦」の本人窓口負担1割存続への町助成を。

④独身者若者を支援として、生活応援手当（1万円）の町施策の実施を。

町長 ④独身者のいる世帯に対する生活応援手当の支給は考えていません。

③については、県と市町で協議を繰り返し、今年

地域整備課長（上下水道）

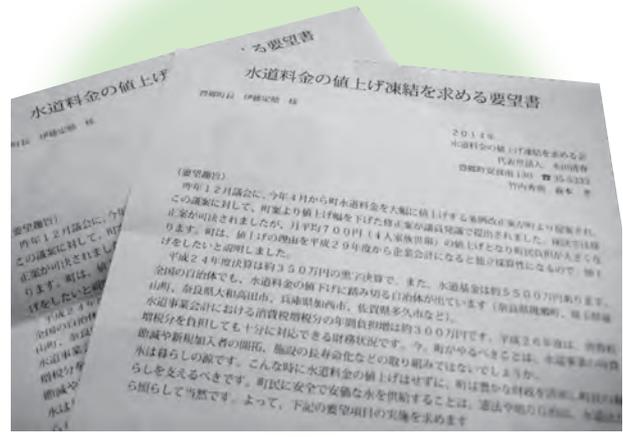
①消費税率3%の値上げと公営企業適用に係る歳出増加による値上げです。さらなる改正は考えていません。

保健福祉課長 ②について現在町は保育園の保育料に対しては、第2子半額、第3子以降は免除をしています。ひとり親家庭につい

ては、保育料の基準額を別に定めて徴収する施策を実施しています。以上の理由で変更することは考えていません。

8月からの制度改正のため準備中です。現時点では町独自施策を行うことは考えていません。

再質問 3月3日に水道料金凍結を



水道料金の値上げ凍結を求める要望書

求める会が町長に署名を直接提出しました。町長はこの町民の声をどう考えていますか。次に、子育て支援について米原市の第2子は、第1子が小学校でも構わないという施策です。又、給食費は学校給食費の無料化を実施する自治体もあります。是非検討を。そして、低所得老人、ひとり暮らし寡婦で2割負担になる人数は何人ですか。又、町助成はやる気があればできる施策です。若者支援については、私は若者が日本の社会を作っていくと考えています。町内の若者から若者施策を求める声を聞きます。昨年、町は高齢者暖房費応援手当5千円を実施しました。今度

は若者応援施策の実施を求めますがいかがか。

町長 若者への1万円給付の目的、意義がわからないのに支給するのは、バラまきだと思います。水道料金は、今から少し上げて、今後は上げる幅を少なくする。これは行政の宿命だと思っています。

保健福祉課長 保育料は今後研究します。低所得老人等の対象者は73人です。金額の話ではなく、今の時期に難しいということです。

求める会が町長に署名を直接提出しました。町長はこの町民の声をどう考えていますか。次に、子育て支援について米原市の第2子は、第1子が小学校でも構わないという施策です。又、給食費は学校給食費の無料化を実施する自治体もあります。是非検討を。そして、低所得老人、ひとり暮らし寡婦で2割負担になる人数は何人ですか。又、町助成はやる気があればできる施策です。若者支援については、私は若者が日本の社会を作っていくと考えています。町内の若者から若者施策を求める声を聞きます。昨年、町は高齢者暖房費応援手当5千円を実施しました。今度



鈴木べんいち議員

役場庁舎の増改築問題

なぜ、町民に説明しないのか

アンケートはしない、ホームページで

質問 町民にも説明せず、議会にも諮らず役場の増改築をなぜそんなに急ぐのか。具体的な理由の説明を。

町民にも説明せず、議会にも諮らず役場の増改築をなぜそんなに急ぐのか。具体的な理由の説明を。

来なかった。町民へのアンケートはしないと答えている。議会に最終説明をしたので、ホームページ等でお知らせをした。

質問 それはおかしい。基本設計の時は、新増改築だったので、新築か増改築かを何度も質した。重ねて聞く。

質問 なぜ、計算をしなかったのか。

木議員が指摘されたものがクリアできたかどうか、それを超えていたら大変だという思いでありました。

町長 議会には一応最終説明をした。(全員協議会で最終案の説明)それとやはり、地震はいかなる時来るかもわかりませんので。

質問 12月議会で庁舎の規模の計算根拠を質したところ、

「根拠はあると聞いているが計算はしていない。」との答弁だった。今回、その計算根拠が示されたが、なぜ、当初から計算をしなかったのか。私が指摘しなければそのままだったのか。

質問 面積云々の話は、庁舎建設の概要が出来上がって、鈴

町長 面積云々の話は、庁舎建設の概要が出来上がって、鈴

質問 全員協議会でも町長は、「町民への説明はしない。」と述べたが、重ねて町民への説明はしないのか。

質問 12月議会で庁舎の規模の計算根拠を質したところ、

「根拠はあると聞いているが計算はしていない。」との答弁だった。今回、その計算根拠が示されたが、なぜ、当初から計算をしなかったのか。私が指摘しなければそのままだったのか。

質問 それはおかしい。基本設計の時は、新増改築だったので、新築か増改築かを何度も質した。重ねて聞く。

町長 面積云々の話は、庁舎建設の概要が出来上がって、鈴

町長 なかなかお知らせ出来ないものは、議会軽視という事があるのでは、なかなか出

総務企画課長 当然以前より計算根拠があることは私は知っていました。新築

質問 それはおかしい。基本設計の時は、新増改築だったので、新築か増改築かを何度も質した。重ねて聞く。

町長 面積云々の話は、庁舎建設の概要が出来上がって、鈴

その他の質問項目

- ① 改良住宅譲渡の早期実現を求める議会決議の具体化を。
- ② 第四次豊郷町総合計画の達成度。
- ③ 高齢者日常生活圏域ニーズ調査。
- ④ 愛里保育園の入所申し込み状況を地域ぐるみで学校づくりを。
- ⑤

事業の計画年度および事業費の財源構成等は次のとおりです。

年度	事業費	特定財源			一般財源
		国庫支出金	地方債	その他	
平成 26 年度	284,083		120,000	0	164,083
平成 27 年度	426,125	25,500	180,000	0	220,625
計	710,208	25,500	300,000	0	384,708

町が示した財源構成

- ① 地方債は町の借金
- ② 国の補助は 2,550 万円
- ③ 約 6 億 8,500 万円は町負担

ズバリ!

町政を問う

みんなの力を合わせ27年

雨降野老人会冠句クラブ

私達冠句クラブ会員は、相互の親睦と意義ある余生を詩心に求め、先輩達の努力で昭和62年に結成されて、句集「つくし」を発行され、実に27年間毎月小冊子を発行し続けております。会員は現在最高89歳から67歳まで19名で、平均年齢は78歳という高齢者ですが、平均年齢は78歳という高齢者ではないですが、人生には定年も卒業もないものと冠句を心の寄り処として日夜冠句に親しんでおり、4月には第317号に達しました。

雨降野の歴史を辿ってみると、古墳時代から荒奎の櫓木を来る日も来る日

もみんな力を合せ開拓して櫓木らぎという集落を構築したと古文書にあるように、みんなで力を合わせて事を成す伝統を先祖より脈々と受け継ぎ育まれて来た事は、雨降野遺跡に見る幾多の歴史が物語っています。「スギナ」は荒地にも強く育ち、その子の「つくし」のように力強く何事にも挫けない事を願って、冠句集は「つくし」と名付けられております。この事を心してこれからもずっとと続けて行きたいと話合っております。

(北川 乙彦)

豊郷料理クラブ

料理クラブは、平成18年になり毎月第1火曜日に活動しています。

身近にある材料を使い簡単にできる料理を教えていただき、家でも即作れるので嬉しいですね。

また、作った料理を会員みんなで試食しながら、楽しいひと時を過ごしております。

年に一回は、研修旅行ということ

で、そば打ち体験、パン作りと町のバスを利用していただき行っています。

また、小学校の通学合宿のお手伝いもいたしております。

どうか興味のある方は、是非、入会してください。お待ちしております。

(夏原 幸子)



編集後記

△山の木々は競って新芽を出し、里の田んぼには青い苗がきれいに並び、自然界の「季節の移ろい」が手にとるように分かる頃になりました。

△4月1日から消費税が8%に引き上げられ、電気・ガス・ガソリン代など生活必需品がほとんど値上げになる一方で、わずかな年金は引き下げられました。

△さらに、町では4月から水道料が値上げになり、「もう、お金はないよ！」と財布は悲痛な叫びをあげています。

△そんな「まつり事」にサヨナラをして「政治の春への移ろい」を感じられる日が早く来る事を願うばかりです。

(鈴木べんいち)

広報常任委員会

- 委員長 西澤 博一
- 副委員長 鈴木 べんいち
- 委員 佐々木 康雄
- 西澤 清きよ
- 北川 かずとし
- 前田 広幸

新書記です



寺田 理恵

議会がスムーズに運営できるようにがんばりますので、よろしくお願いたします。